

世界遺産の建築家 — 回想！ 摩訶不思議なる世界 —

ブルーノ・タウト “幻の地下室”展

2022(令4)4月(予定)のオープンに向けて！



国指定重要文化財

旧日向家熱海別邸

期間 令和2年10月8日(木)～13日(火)

場所 ギャラリー・藍花

10:30～16:00

無料

主催：熱海ブルーノ・タウト連盟 / 東山荘 / ATAMI 海峯楼



ギャラリー・藍花 熱海市田原本町7-6

<https://atami-taut.com/> mail@atami-taut.com



令和2年度熱海市観光まちづくり補助事業

摩訶不思議なるタウトの世界

旧日向家熱海別邸 “幻の地下室”展へようこそ！

熱海・東山（春日町）には世界遺産の建築家・ブルーノ・タウトによる摩訶不思議なる建築「旧日向家熱海別邸」があります。それは相模湾を望む急な傾斜地に埋め込まれるように建てられ、高木に囲まれ地元の人々さえ長年知られなかったことから、誰が言うともなく「幻の地下室」と呼ばれてきました。

1936（昭和11年）につくられた旧日向家熱海別邸は、また「奇跡の塊」のような存在でもあります。3年5ヶ月在日していたタウトですが、建築設計の機会は極めて少なく、現存施設はここのみとなっています。



第一の奇跡 タウトが日本に残した唯一の現存施設

第二の奇跡 その後企業の保養所として52年間竣工時の状態で保存された

第三の奇跡 更には解体寸前には篤志家が現れ熱海市に寄贈

docomomo100選（H15）、重要文化財を取得（H18）

現在大改修の工事中！

2022（令和4年）4月にオープンの予定です。



工事写真

熱海市 HP より



ATAMI 海峯楼

またこの摩訶不思議なる「幻の地下室」旧日向家熱海別邸に隣接して二つの建物があります。

国の登録有形文化財である「東山荘」（S8）と隈研吾氏設計による「ATAMI 海峯楼」（H7）です。ここ東山地区は旧・杵屋六左衛門邸（S11）もあり、丹那トンネル開通に伴い元気な熱海を築いた“昭和ロマン”の地でもあります。



東山荘

熱海ブルーノ・タウト連盟は、リニューアルオープンにむけて広報とその保存・活用支援を目的に、旧・旧日向別邸保存会と旧・ブルーノ・タウト熱海会が一緒になりました。

「熱海をブルーノ・タウト・日本のメッカに！」をテーマに隣接の東山荘、ATAMI 海峯楼、更には地元町内会、全国の関連施設と協働体制を組み活動してまいります。東山の昭和資産を知らせ活用することで熱海市が目標とする「熱海国際観光温泉文化都市」の基の一つとすべく推進します。全国の皆様におかれましてはご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

この度は「ギャラリー藍花」様のご協力を頂きこの展示会を開催することにとなりました。この場をかりて厚く御礼申し上げます。

主催：熱海ブルーノ・タウト連盟 / 国登録有形文化財 東山荘 / ATAMI 海峯楼

連絡先：熱海ブルーノ・タウト連盟 熱海市梅園町 11-19

080-3217-3297

